



2021-22 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1460 回 (9)

会 長 能 登 伸 一
幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2021 年 9 月 7 日 (火) 12:30 ～
場 所 福山ニューキャッスルホテル(ハイブリッド例会)
例会行事 点 鐘・ソング「君が代・奉仕の理想」
ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照)

例会情報

[会長報告](#)

[幹事報告](#)

[出席報告](#)

[S A A 報告](#)

[スマイル報告](#)

[プログラム情報](#)

[その他報告](#)

その他情報

[メイクアップ情報 \(来週分\)](#)

[メイクアップ情報 \(再来週分\)](#)

[今後の行事予定](#)

[クラブ活動報告](#)



*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。



【 会 長 報 告 】

みなさん、こんにちは。まず皆さんにお伝えすることがあります。福山北ロータリークラブさんと合同で行う予定でありましたガバナー公式訪問ですが、11月12日に延期となりました。コロナ禍が緊急事態宣言中ということで対応すべく北クラブの池田会長とズームを使って行うことも含めて検討した結果、できれば延期したいということでまとめ、この要望を塩川ガバナー補佐にお伝えしたわけです。聞くところによりますとこれは本当に異例なことだということではありましたがお陰様で北クラブの要望通り延期ということにさせて頂きました。塩川ガバナー補佐、ありがとうございました。

つきましては11月12日当日には先日の塩川ガバナー補佐訪問を生かし、さらにしっかり準備もして有意義なガバナー訪問にしたいと思っていますので皆様、どうかよろしくお願い致します。

今日もZOOMハイブリッド例会です。今日から尾熊さんに寄贈して頂いたカメラのお陰で会場の様子も映っています。また、これを使えばハウリングが防げるというマイクを三ヶ島さんが東RCから借りていただいています。多くの方の協力によってこのズームハイブリッド例会もだんだんと良くなってきました。本当にありがとうございます。

そして今日はロータリー情報委員会の企画による石岡さん、小田さん、北村さんの卓話です。お三方とも大先輩でいろんなことをよくご存じの方々でとても楽しみにしています。

どうかよろしくお願い致します。

[表紙へ](#)

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第2710地区事務局より ・佐賀・長崎豪雨災害に対する支援金について ・9月のロータリーレートのお知らせ 1ドル=110円 ・基本的教育と識字率教育月間 リソースのご案内 ・D2620 熱海豪雨災害支援報告の件
2	2021-22年度 地区大会実行委員会より ・地区大会本登録について
3	
4	
5	

[表紙へ](#)

【 プログラム情報 】

《 会員卓話 》

❖ 石岡 紀彦 「西クラブ創立初期の頃の思い出」



1990年6月12日、ロータリーのことは何も分からないまま当ホテルへ呼びだされ、32名の創立会員で創立総会が開催されましたが、32名全員は出席していなかったようです。ということで例会がスタートしました。創立会長は石川先生ということになっておりますが、実際には大木忠さんという方が最初の会長でスタートしました。しかし、3ヶ月位して作業服に安全靴という出で立ちで例会に来られ、いかにも退会を示唆するかの様でございました。そして当然なことながら退会されました。大木さんは松本卓臣さんの大学の後輩ということもあって、それが精神的なプレッシャーとなり退会されたのではと思いますが、それは定かではありません。

その年の10月に広島国際会議場で地区大会が開催されましたが、その際会場のロビーで急遽臨時理事会を開催し、副会長であった石川先生に会長として引き継いでいただき、翌年度も会長を受けていただくことになりました。そして、6月25日に国際ロータリーへの加盟が認証され、日本で1915番目のクラブとして正式にR1の会員となりました。

それを受けて、認証状伝達式いわゆるチャーターナイトを実施しなければなりません。その実行委員長を石川先生がされる予定でしたが、会長を受けられたことから、副幹事をしていた私に、あなたは何もすることがないのだから、あなたが実行委員長をなさいと言われました。それを受けて実行員会の各部会がそれぞれに会合を重ね検討がなされました。その会合は数えて100回に及んだのではないかと思います。私はそのすべてに参加したように記憶しております。

そして、翌年2月17日に当ホテルに関係者800名近い参加者を得て盛大に開催されました。その記念事業として、緑町公園に楠の植樹を後日行いました。その後何度か園内の場所を移動され、現在は緑町公園の南側側面にクラブの成長を願うかのように高々とそびえ立っております。

そして、5年目の会長を務めさせていただきましたが、創立5周年記念式典でのアトラクションについて徳永幹事と相談の上、余り費用を掛けず手作りのものにしようということから、以前に楽器をたしなんだ経験のある会員に集まっていただき、ザ・ウエストという楽団を結成し、何度となくスタジオなどで練習を重ねてまいりました。私はトロンボーンを担当でしたが、最初は音さえ出ないような状況でしたが、クラブ歌の作曲者である住吉先生の指導を仰ぎながら、何とか簡単な曲程度をこなせられるようになり、創立5周年の式典で披露することが出来ました。その出来栄は決して自慢できるものではありませんでしたが、練習に真剣に取り組んだことへの満足感がありました。今ではそんな気力も体力もありませんが、よき思い出の1ページを残すことができました。また、創立10周年でも演奏させていただきました。

その創立5周年の記念事業でも楠の植樹を行いました。チャーターナイトの楠の側近に元気にそびえております。

次の思い出は、阪神大震災復興記念として開催されたロータリー親睦野球甲子園大会への出場でした。その大会は、希望すればどのチームでも参加できましたが、その代わり1試合のみということでした。ということで当クラブから23名のメンバーが参加しました。北さんは何度か甲子園を経験されておられましたが、その他の方はあの憧れの甲子園で試合ができたことはロータリーの思い出の一つとなっていることと思います。結果は7対7でした。最後に審判からじゃんけんて勝敗を決めてはどうかと提案がありましたが、相手チームの桑名西RCと共にお互いに負けて帰りたくないということで引き分けとなりました。

次に3グループ合同のIMの思い出でございます。分区代理からガバナー補佐に名称が変わって初めての当グループのガバナー補佐となったのが辰川さんでございます。その選考に当たっては、会長経験者などでの会合でたまたま辰川さんがまだ来られてなかったこともあり、欠席裁判ならず遅刻裁判で決めようと満場一致で辰川さんに決まりました。

本来であれば当然石川先生ということになるのですが、体調が思わしくないこともあり辞退していただきました。

そして、グループ7.8.9合同IMが平成13年4月1日、当ホテルにて開催されました。それに向けての実行委員会組織が結成され、不肖私が実行委員長を務めることになりました。実行委員会の会合は福山、尾道、三次と場所を変えながら行われました。そして、各クラブへの挨拶はグループごとに分担して行いました。グループ8が当クラブの担当ですが、10クラブを辰川さんと二人で挨拶回りを行うことになりました。

これからの話は辰川さんには内緒のことですので、悪しからず。

府中クラブに訪問した際、辰川さんがなかなか到着せずイライラしていたところ、電話がありゴメン道を間違えてしまったと連絡がありました。補佐訪問の際に一度訪問しているのにどうしたのかなと思いつつも、少し遅れて来られ何とか無事終えることができました。

そして次は鞆の浦RCだからと間違わないようにと念を押していたのですが、当日待てど暮らせど辰川さんが来ない。そうしていたら、本人から間違えて赤坂に来てしまったと連絡がありました。鞆の浦の会長から、そのための時間をたっぷり割いているからと言われ大変戸

惑ったものでございます。そんなこともありましたが、何とか無事IMを終えることができました。

その他にも、数えきれないほどの思い出がありますが、持ち時間が来ましたのでこれにて終了させていただきます。

以上、拙い話で大変失礼しました。

❖ 小田 宗一



コロナ禍も第5波のピークをやっと超えたのかな？と思われませんが、なにはともあれ、無事に早く終息してくれる事を祈るのみです。「オリンピック」が終り、「パラリンピック」も終り、現在は「自民党の総裁選挙」がテレビ機軸を賑わしています。今頃、私は「テレビ番人」をしています。

私は昭和13年の早生まれで、「鬼畜米英」「一億総玉砕」など、「男女7歳にして、席を同じゅうせず」の戦中教育を受けましたが、今も変らぬのは『世のため、人のため』生きる事です。終戦により、男女共学、民主教育に180度転換した社会を生きてきましたが、現在の民主社会を抵抗なく生きられる事は本当に幸せだと思っています。現代のイランやアフガンの民主化にアメリカ、欧米社会が失敗したのを見ても「日本」は民主化の優等生であり、奇蹟なんでしょうネ。

私の子供の頃の夢は、

- 1) 62年間生きて21世紀と言う世界を見たい。
- 2) 3階建てのビルを建てる事、でした。

昭和31年に高校を卒業して、証券会社に10年位勤めて、帰郷しました。あの頃は、景気は3年周期といわれ、多少不景気はありましたが、社会は右肩上りでした。身の廻りでも一等地の田んぼの真ん中にドンと道路が出来てビックリするやら、こんな所が住宅地に本当になるのか？と心配しましたが、今は何処も、昔の面影はなく立派な住宅地になっています。

日本のオリンピック開催でも日本は変りました。高速道路が出来、新幹線が走ったのは代表的ですが、川や道路のゴミ捨てが減り、トイレもずいぶんキレイになりました。現在では世界でも上位の清潔国家ですが、これも第1回のオリンピックの時からです。

食べる物もなく、がむしゃらに働き、アメリカと「繊維摩擦」や「自動車摩擦」が起った頃に「ジャパン アズ NO.1」の本が出たり、ニューヨークのマンハッタンで「シンボルビル」を日本人が買ったりして、日本が豊かになった事を自覚しました。

現在は「ビックバン」や、「IT 革命」と言う、大嵐の中で、日本は 20 年間、賃金上昇なしというデフレ下で、昔、韓国や中国の給料が日本の何分の 1 かだったのが嘘みたいです。今では中国に高給で日本の優秀な人材が引抜きにあっている現状は、日本が、如何に社会が停滞しているかを現わしているようです。

昔は、機械を購入すると、すぐに仕事が埋っていましたが、今はコロナ禍で受注で苦労しています。現役の人は技術と頭脳で、日本を再び輝ける国にする様、お願いします。

我が福山西 RC は、1990 年に産声をあげました。栄枯盛衰はありましたが、「ロータリーを楽しもう！」をモットーに 30 年間がんばって活動が出来ました。老兵は去るのみですが、若い西 RC の皆様の方で今後共、クラブが永続する事を祈って終わります。

❖ 北村 富喜子



私が福山西ロータリークラブに入会したのは、平成 16 年（2002 年）、今年で 17 年目になります。クラブに入る前は伊勢丘小学校に勤務していました。その時に、地区の世話役だった元会員の山口さんのお誘いで、福山西ロータリークラブに入会しました。クラブの例会に出席したところ、今井さんや尾熊さんといった旧知の方とお逢いし、クラブが今までの交友と違った身近な集いとなり、素晴らしい方々の集いであることに魅力と好奇心を抱き、週一度の会が待たれる日となりました。

人生には出発点があれば必ず終着点があり、人は生まれた時から終点に向かって、笑いながら、時には怒りながら、わき見しながらも毅然と胸を張り、人生は「此の世に店を広げたのだから」最後には「店じまい」はと考えながらも、その間にたくさんの経験や多くの体験を通し、仕事の喜びと悲しみその中での人々との交わりによる温かさやトラブルによって成長しながら、やがて人生の終点にたどり着くことはわかっているのですが、その人生の終点というのが死なのだということ、これだけは誰も体験していないので不安がつり、これを「生への未練」と人は言っているようですが、生かされている限りやるべきこと、やらざるを得ないことなどたくさんあり、日常生活の営みの中から夢や希望を持ち続け、笑ったり泣

いたりしながら終末に向かうしかないようです。

人間ですから出来ること出来ないことが生じるのは仕方のないことではありますが、出来ないことは未練となっていていつ迄も心に残ってしまうようです。生きるということは欲を持っているということの証であって、自分がこうありたいということ、こうあればいいという気持ちが未練となり「とっておくのは写真だけ、残しておくのは思い出だけ」といった人もいますが、マザーテレサは「もっとも悲惨なことは、飢餓でも病気でもないのです。自分が誰からも見捨てられていると感じることなのです」と訴えています。ボケたり、鬱を生じたりしない人生を過ごす為には、いつも社会につながっていることが大切であって、純粋な形で自分が何らかの形で役に立っていると感じられるのがロータリー会員の思いであれば、「情けは人のためならず」という諺を通して、日々を反省しながら確かなあゆみを続けていかなければならないと、日々反省しつつ過ごしている現状です。

ロータリーの会員として仲間入りさせて頂けていることを、心から感謝しています。



【その他報告】

《「ロータリーの友」誌紹介》

ロータリー情報委員会 登里 孝司



9月は「基本的教育と識字率向上月間」及び「ロータリーの友月間」です。

1. 横目次 P4 2021-2022 年度 RI 会長メッセージ
 - ・識字率の向上は、貧困からの脱却、健康の増進、平和の推進という私達が目的とする活動において非常に重要である。
2. 横目次 P7~9 リテラシーがもたらすもの
 - ・園児を対象とした絵本を通して世界の現状を子供達に教える事で、自分達が生きている環境が幸せである事に気付かせる。「当たり前」と思っている事柄に感謝できる心を育てる。（絵本から学ぶ SDGs の一環である）
3. 横目次 P10~13 ヘルプマークを地域の絆に
 - ・弱者、障害者、配慮を必要とする人のためにヘルプマークが考案されたが、このマークが「どういう意味をもつマークか」を周りの人が理解していなければ、全く意味のないマークとなる。
 - ・RI が特別月間に掲げる「識字」とは、文字を読んだり書いたりする能力だけでなく、ヘルプマークを理解する事も識字率向上に繋がるのではないか。
4. 横目次 P14~16 「友」誌を嗜む（たしなむ）
 - ・昔の「友」誌は難しい印象だったが、ここ 10 年位で面白い内容に変わってきているように感じる。「友」誌を活用する事で、話題作りが難しい時でも、共通の話題が見つかる場合がある。「コロナ禍」にある現状では、「友」誌の役割は大変重要である。
5. 横目次 P20~21 ロータリー雑誌の仲間たち
 - ・世界には RI が発行する「ROTARY」をはじめ、それぞれの地域で発行されている RI から認可されたロータリーの機関紙が 30 以上ある。日本の「ロータリーの友」

もP20に掲載されています。

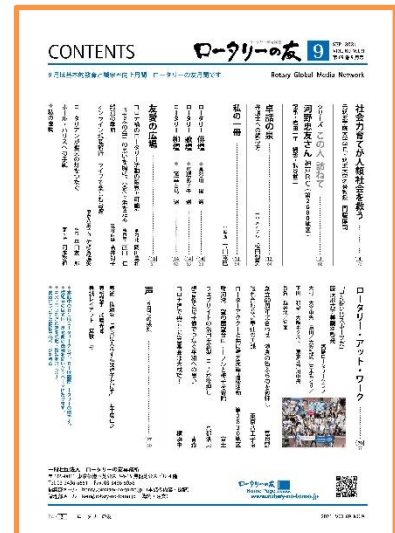
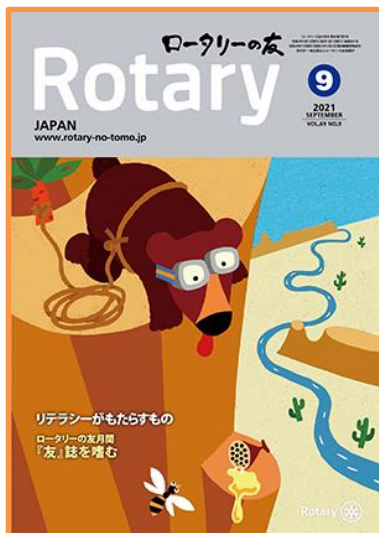
6. 横目次P22~27 新しいロータリー財団 賃金モデルの手引き

- 今後、出来るだけ多くのグローバル補助金プロジェクトを支援するため、ロータリー財団管理委員会は7月1日付で方針を変更しました。これにより、ロータリー財団は大きく強化され、より多くの持続可能な大規模プロジェクトを支援する事ができるとの事です。

7. 縦目次P4~8 元筑波学院大学学長 門脇 厚司氏のIM記念講演要旨

「社会力育てが人類社会を救う」

- 社会力の重要性を述べておられます。
- 社会力とは、体現する能力の事で、社会力を体現する人間とは、社会力を「良く」作り変えていける人間、という事であり、「よりベターな、より良い社会を考える力、それをつくりたいという意欲・意思があるということ」これが社会力の大切な要素である。そして、自らの頭で考える力・構想力も社会力であり、考えるだけでなく実行に移してゆく力・実行力も社会力に含まれる、と述べておられます。
- また、「持続と開発は矛盾する」とも述べていて、SDGsに対しても、警鐘を発しておられます。さまざまな問題は「互恵的協働社会」を実現する事でしか解決できない、と考えておられます。



[表紙へ](#)